

会員の皆様、

先日開催されました「ブラジル政治・経済・ビジネスセミナー」にご出席いただきました皆様に感謝申し上げます。ご講演いただいた近田亮平氏と佐藤真吾氏の両氏に厚くお礼申し上げます。

7月20日、21日に東京・代々木公園で開催予定のブラジル＆ラテンフェスティバル（入場無料）にも皆様是非お誘い合わせの上ご来場ください。

今号では、ブラジル銀行在日支店のアリソン・アギアール・ダ・コスタ支店長が、対日輸出や事業拡大に関心のある企業向けにブラジル銀行が提供するサービスについてご寄稿くださいました。

またブラジルの加盟が決まったEUREKA（欧州先端技術共同研究計画）や、ブラジルの失業率の現状、岸田首相のブラジル訪問時に調印された二国間協定に関する記事もご覧ください。

どうぞよろしくお願いします。

CCBJ会頭
行徳セルソ

(寄稿)

日本への輸出とビジネス拡大

ブラジル銀行在日支店支店長

アリソン・アギアール・ダ・コスタ

日本市場への進出は、ブラジル企業にとって絶好のビジネスチャンスです。日本は高品質な製品と革新性を評価する市場であり、さまざまな分野に門戸が開かれています。一方で永続的なパートナーシップの構築のためには、商習慣や文化の違いを理解することが極めて重要となります。

なぜ日本に投資するのか？

日本は世界第4位の経済大国であり、一人当たりの所得が高く、人口は1億2400万人に上ります。日本はその地理的特性や、国土・天然資源ともに限られていることから、ブラジルの主要輸出相手国の一つとなっており、ブラジルから大豆や鉄鉱石、牛肉、鶏肉、コーヒー、オレンジジュース、ココア、砂糖、トウモロコシ、蜂蜜、プロポリス、ココアなどを輸入しています。また特殊化学品、加工鉱物、セルロース、航空機などブラジルの付加価値製品の需要も高くなっています。

ブラジル中央銀行によると、日本にとってブラジルは中南米最大の貿易相手国であり、対ブラジル投資額は214億ドルに上っています。またブラジル全国工業連盟（CNI）の2022年の調査では、日本はブラジルの主要貿易相手国中で9位を占めています。

対日輸出の流れを理解し、日本市場における存在感獲得に役立つ実践的なヒントや事例をご紹介します。

1. 日本市場を理解する

まずは日本市場の様々なニュアンスを理解することです。大豆、鉄鉱石、原油、砂糖、牛肉・鶏肉、大豆ミール、セルロース、とうもろこしなど、日本に広く浸透しているブラジル製品について調査しましょう。

見本市や各業界イベント、ネットワーキング活動への参加を通じて、日本での人脈を構築しましょう。現地のパートナーや潜在顧客、その他の利害関係者と強固な関係を構築することは、長期的な成功のために極めて重要です。

2. 市場調査の実施

日本の消費者の嗜好や好み、潜在的な需要を理解するために市場調査を行いましょう。トレンドを把握し、消費者の好みに合わせて製品を改良してください。市場調査の結果に基づいて、製品を日本の消費者の嗜好や希望に適合させ、厳しい品質基準をクリアしましょう。

3. 現地でのパートナー探し

日本に製品を輸出するには、輸入登録を行い、希望する分野に精通した現地の輸入業者や商社と業務提携をする必要があります。こうした取引先は、市場に関する貴重な見識を提供し、日本の複雑な輸出規制制度への対応もサポートしてくれます。

4. 現地の規制を知る

健康や安全、包装、表示に関する各種基準など、日本特有の規制の遵守に努めましょう。ラベル表示はすべて日本語表記で、原材料やアレルギーの可能性、賞味期限など詳しく記載することが求められます。また日本への輸送プロセスについては、最も効率的で費用対効果の高い輸送方法の選択から、通関手続きの理解、機動的かつ信頼できるサプライチェーンの確保なども含めて検討しましょう。

5. 成功事例

日本進出に成功したブラジル企業を参考にしましょう。例えば、牛肉や鶏肉を輸出している企業は、日本の消費者のニーズに合わせてカットや包装の工程を工夫するだけでなく、高品質にこだわりながら製品にストーリーを持たせることで付加価値を高めており、ブランド戦略のヒントを与えてくれます。

6. ブランドの国際化

日本の消費者とつながるためのマーケティング戦略を立てましょう。こうした戦略には、魅力的なパッケージの開発から、ブラジル製品の原産地や品質をアピールする広告展開、日本で人気のSNSやオンライン・プラットフォームを活用したブランドの認知度向上の取り組みなども含まれます。

日本市場に特化したコンサルティングサービスのご利用をご検討ください

1972年に日本に進出したブラジル銀行は、貿易に特化した支店を東京都内に設けており、日本国内で新たな取引先とのパートナーシップを確立するためのサポートを行うとともに、以下のような輸出に必要なソリューションを提供しています：

1) マルチカレンシー口座

米ドル、ユーロ、日本円、ブラジルレアルなどの通貨で受払い口座を用意していれば、会社にとって最適なタイミングで投資や両替ができ、キャッシュフローの管理しやすくなります。こうした取引はすべてBBコーポレート・バンキング（インターネットバンキングPJ）を通じて直接管理することができます。

2) 信用状

特別な財務条件の信用状の発行で、取引の安全性をさらに高めることができます。

3) 与信

輸出金融や輸入金融、信用状割引、フォーフエイディング取引に各国の金利をご利用いただけます。また、日伯租税条約に基づく金利優遇措置をご利用いただける場合もあります。

4) 多言語に対応

現地の市場に関する幅広い知識を持ち、多言語（ポルトガル語、日本語、英語、中国語）で対応できるスタッフが、日本やアジア全域で新たな取引先へのアプローチをサポートします。

詳細についてはホームページをご覧ください。
<https://www.bb.com.br/site/japao/pessoa-juridica/>

〈お問合せ〉

BBジャパンの法人向けサービス内容の詳細につきましては、Eメールでお問い合わせください。
tokyocorporate@bb.com.br

(経済)

ブラジルの失業率

ブラジル地理統計院によると、ブラジルの今年第1四半期の失業率は7.9%でした。8.8%を記録した前年同期から0.9ポイント減少し、過去10年で最も低い数値となりました。ブラジル地理統計院が実施する全国世帯サンプル調査によると、今年第1四半期の平均実質月収は、3123リアルと見積もられており、前年同期の3004リアルと比べると実質平均増加率は4%でした。

詳細はこちら：<https://agenciagov.ebc.com.br/noticias/202405/em-um-ano-desemprego-caiu-em-22-estados-e-no-df>

出所：ブラジル連邦政府

EUREKA (ユーレカ) または欧州先端技術共同研究計画

ブラジル EUREKAに加盟

ヨーロッパやアジア、北米、南米、アフリカの47カ国以上が加盟するEUREKA (欧州先端技術共同研究計画) に、ブラジルが新たに加盟することが認められました。ブラジルの加盟は全会一致 (33票) で承認されました。EUREKA加盟によ

り、ブラジルは他の加盟国と協力してプロジェクトを推進できるようになるほか、新技術の導入や新市場に対する競争力強化に当たりイノベーションの視野が広がるなど、多くのメリットが期待されます。

EUREKAは、競争力と市場統合を推し進め、企業や組織、大学間の研究開発における協力を促進するため、1985年に18カ国と欧州委員会の合意により設立されました。

詳細はこちら: <https://agenciagov.ebc.com.br/noticias/202404/ao-lado-de-47-paises-brasil-e-o-mais-novo-membro-da-rede-eureka>

ブラジルと日本、荒廃地に関する協定に調印

ブラジルと日本は今月、ブラジルの荒廃地回復のための研究開発活動を目的とした共同行動に関する覚書に調印しました。同文書は「日伯グリーン・パートナーシップ・イニシアティブ」の一環として、エンブラパ社のシルヴィア・マスルハ社長、国際協力機構（JICA）の田中明彦理事長、カルロス・ファバロ農務相、パウロ・テイシェイラ農業開発相によって署名されました。調印式には岸田文雄首相とルイス・イナシオ・ルーラ・ダ・シルヴァ大統領が出席しました。

ブラジル農牧研究公社（EMBRAPA）の国際関係担当者マルセロ・モランディ氏によると、覚書には成功した牧草地回復プロジェクトの分析や、炭素市場の動向、森林の回復と破壊に関するデータ、劣化地域の回復に関する情報全般など、このテーマに関する情報収集も含まれ、これによって幅広い診断ができ、研究活動の助成が可能になるということです。

詳細はこちら: <https://agenciagov.ebc.com.br/noticias/202405/brasil-e-japao-assinam-parceria-para-recuperacao-de-areas-degradadas>

(CCBJ)

ブラジル&ラテンフェスティバル

在日ブラジル商工会議所主催の第17回ブラジルフェスティバルは、7月21日と22日に開催されます。実行委員会は、日本国内最大のブラジルの祭典の開

催に向けて鋭意準備を進めています。今年のフェスティバルには、ブラジルだけでなく他のラテンアメリカの国々の音楽や料理も登場します。入場無料で、音楽からグルメ、子ども向けのアトラクションまでお楽しみいただけます。

日時：7月20日（土）、21日（日）、11時から19時

会場：東京・代々木公園イベント広場

入場無料

主催：在日ブラジル商工会議所

ホームページ：<https://www.festivalbrasil.jp/ja/>
